

別紙

株式会社 キーレックス 第1製造 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 キーレックス 第1製造 (海田工場)

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町南明神町2番51号

(3) 業種

3113 自動車部分品・附属品製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22年度を基準年度とし、平成26年度から平成30年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

【環境方針】

(株)キーレックスは、「人と地球にやさしい環境を創る」を理念とし、次の通り環境保全活動を展開する。

1. 当社は、自動車車体部品の開発・生産・金型製作・生産設備の設計・施工及び生活関連商品を通じて、地域のみならず地球環境保護のため、汚染の予防に努め、環境負荷の軽減に取り組みます。
2. 環境関連法規及び自主規制と、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 有害か有益かを問わず、環境目的・環境目標を設定しこれを定期的に見直し、継続的な改善に努めます。
4. 当社のために働くすべての人に、環境方針を周知徹底してその推進と向上に努めます。
5. 外部より環境方針の要求があった場合は、その求めに応じます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成25年度
二酸化炭素	データ無	10,602	9,996

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： エネルギー使用量 (k θ) / 加重台数 Assy (千台)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成30年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-	0.3760	8.0	-	-	0.3459
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位を年平均1%以上の削減を行う						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー使用合理化	エネルギー消費原単位 1%削減/年	・省エネ型電気機器への更新 ・不要時における照明の消灯
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

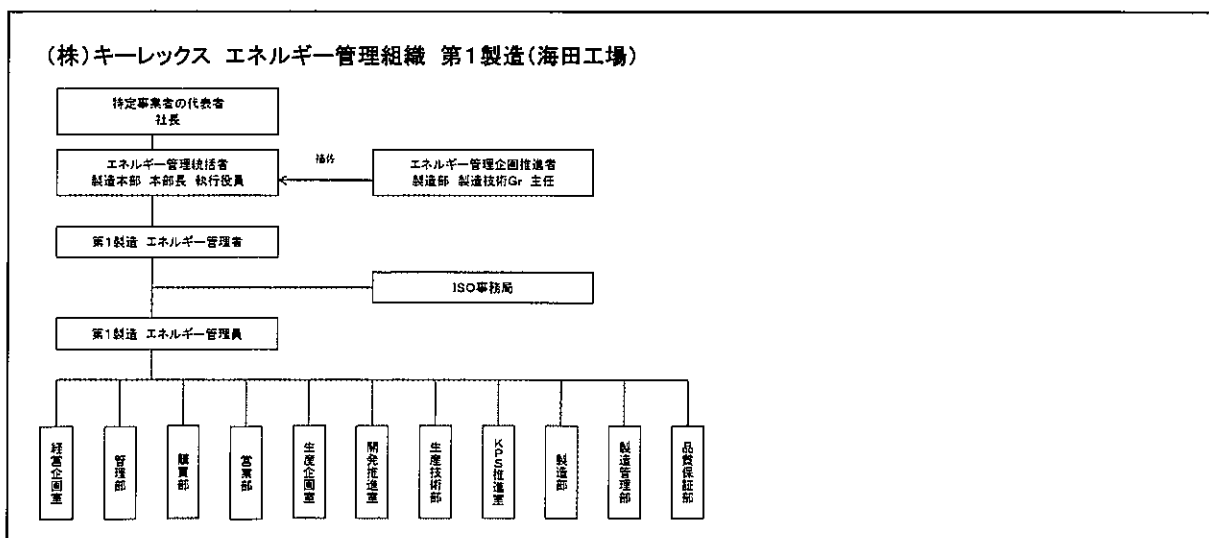
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	前年度実績以下	・分別収集及び資源化の徹底
2	省エネ意識の向上	1回/年	・省エネ教育の推進
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

省エネルギー推進のために、省エネルギー推進委員会を設置するとともに、環境マネジメントシステムを構築し、活動を推進する。

- 1) 省エネルギー目標の設定
- 2) 中長期計画、年度計画の作成
- 3) 前年比エネルギー使用状況の把握と改善策の検討
- 4) 既存設備の運用管理強化、高効率機器の導入
- 5) エネルギー使用実績と目標の対比ならびに問題点の抽出と対策
- 6) 省エネルギーに関する啓蒙活動

(3) 計画書等の公表

事業所における閲覧とする。

事業所位置図

